



# 愛知医科大学大学院 看護学研究科

修士課程

AICHI MEDICAL UNIVERSITY  
Graduate School of Nursing 2023

# 愛知医科大学大学院 看護学研究科(修士課程)について

愛知医科大学大学院看護学研究科は、高度専門職業人にふさわしい看護実践者として、これからの看護研究・教育・管理に貢献できる人材を育成するために、2004年4月に開設しました。

その後、2007年度に感染看護学領域において高度実践看護師（専門看護師[CNS]）コースを開設し、2015年10月には高度実践看護師（診療看護師[NP]）コースにおいて、特定行為研修制度の研修機関として厚生労働省から指定（38行為21区分）を受けるなど着実に発展を遂げ、更なる看護学の発展に寄与する人材の育成を行っています。

## 研究科長あいさつ



Message from the Dean

研究科長  
**坂本 真理子**

Sakamoto Mariko

愛知医科大学大学院看護学研究科は、2004年の開設から18年が経過しました。これまで送り出した159名の修了生たちは、本研究科で培った知識や技術をもって全国各地の保健医療機関や教育機関などで活躍しています。

近年の大きく変化する社会情勢のもと、保健・医療・福祉のしくみも変わろうとしています。こうした変化の中で、自ずと看護職の役割や地域社会での活動場所も拡大し、多様化してきています。多くの看護職が今まさに、今日的な課題を実感しながら、悩み、実践に取り組んでおられると思います。

看護教育の高等化が急速に進み、実践家である看護職が大学院で学べる機会が増えました。本研究科では、実践家である皆さんのが日常の看護実践で気になっている現象を紐解くことから始めます。自らの体験を語り、自分自身の考えを整理し、議論しあうプロセスを通じて、自分の研究テーマを精錬させ、新しい知を創造し、発信できるように研究を進めています。このプロセスは、経験知であった看護を可視化し、共有の財産である理論知としていくプロセスでもあります。

本研究科では夜間開講や長期履修制度等、社会人が学びやすい教育環境を整えています。自らの可能性に挑戦し、共によりよい社会の創造に向けた看護学の追求と共に取り組んでみませんか。皆様のご入学を心からお待ちしております。

## 教育理念

看護現象に根ざした人間存在の原理的・統合的・全人的理解を基盤として、学際的・国際的な視点を加味した看護学を教授し、卓越した看護実践能力及び研究・教育・管理能力を持つ高度実践看護者を育成するとともに、研究・教育を通して看護学の発展に寄与する。



## 教育目標

- 高度な知識・技術と卓越した実践能力を持つ高度専門職業人を育成する。
- 看護の質向上に寄与する研究・教育・管理能力を持つ高度専門職業人を育成する。
- 国際的視野を持って、看護・看護学を探求しつづける人材を育成する。
- 看護学の学問的発展に寄与できる研究者・教育者を育成する。

## 学位

看護現象に根ざした人間存在の原理的・統合的・全人的理解を基盤として、学際的・国際的な視点に基づく卓越した看護実践能力及び研究・教育・管理能力を身に着け、高度専門職者として優れた能力ないし教育・研究活動に貢献できる能力を修得した者に、修士（看護学）の学位を授与する。

## 募集人員

15名

# 担当教員研究内容一覧

## 教育研究分野・専攻領域及びコース

教育研究分野	専攻領域	コース
基礎看護学	看護管理学	
母子看護学	母性看護学	
成人・老年看護学	慢性看護学	修士論文
精神・在宅・地域看護学	精神看護学	
	在宅看護学	
	地域看護学	
高度実践看護学	感染看護学	修士論文 高度実践看護師(専門看護師[CNS])
	臨床実践看護学	修士論文 高度実践看護師(診療看護師[NP])

## 担当教員研究内容一覧



### 看護管理学領域

**山中 真** 教授

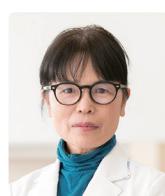
- 転倒外傷予防
- 看護師の実践技術の量的評価



### 母性看護学領域

**山本 弘江** 准教授

- 夫婦に対する産後うつ病の早期発見とスクリーニングに関する研究
- 子育て期の家族のメンタルヘルスに関する支援の検討
- 親の育児ストレスに関する研究



### 慢性看護学領域

**高橋 佳子** 教授

- 長期療養者のセルフマネジメント・スキル獲得への支援に関する研究
- セルフマネジメントに必要な行動変容に関する研究



### 慢性看護学領域

**谷口 千枝** 准教授

- 行動変容に関する心理・社会的要因の分析
- 禁煙行動に関する疫学研究
- レセプトデータを用いた疾病と生活習慣との関連分析



### 精神看護学領域

**心光 世津子** 教授

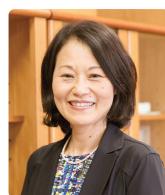
- 精神科病棟看護における自己決定支援に関する学際的研究
- 精神障害からの回復・リカバリーに関する研究
- セルフヘルプ・グループやピアサポートに関する研究



### 在宅看護学領域

**佐々木 裕子** 准教授

- 在宅ターミナルケアに関する研究
- 小児在宅ケアに関する研究
- 地域・在宅ケアで取り組む災害対策と要配慮者支援に関する研究
- 在宅看護教育に関する研究



### 地域看護学領域

**坂本 真理子** 教授

- コミュニティ・ヘルス・ワーカーの在日外国人支援における適応について
- 多文化に対応する子どもと親のための健康教育ハンドブックの開発
- 保健師の歴史に関する研究



### 地域看護学領域

**若杉 里実** 教授

- 地域看護活動に関する研究
- 保健師の人材育成に関する研究
- 地域看護学教育に関する研究
- 看護学生の慢性疼痛教育に関する研究



### 感染看護学領域

**佐藤 ゆか** 教授

- 感染防止教育に関する研究
- 感染管理、感染防止ケア、感染症患者の看護に関する研究
- 感染防止における地域連携に関する研究



### 臨床実践看護学領域

**泉 雅之** 教授

- 医療コミュニケーションに関する研究、認知症の臨床

# 環 境

## 昼夜開講制・長期履修制度

医療等の現場で活躍している看護師・保健師の方々が退職や休職することなく学べるよう、配慮しています。

また、2015年度入学生からは職業を有している等の事情により、標準修業年限での履修が困難な学生を対象として、修業年限を超えて計画的に履修し、修了することができる「長期履修制度」を導入し、社会人の学びやすさを支援する体制を取っています。



社会人比率	2022年度入学者 13名中13名(100%)
2021年度入学者	13名中13名(100%) [長期履修制度を利用する学生:7名]
2020年度入学者	12名中12名(100%) [長期履修制度を利用する学生:1名]
2019年度入学者	14名中14名(100%) [長期履修制度を利用する学生:7名]

## 研究指導体制

本研究科における指導体制は、少人数で個別的な指導を行うことを旨としています。このため、初学者であっても確実に研究のプロセスを学習しつつ、論文を作成できる体制を取っています。



## 研究環境

### 院生用研究室

大学院生には、研究活動等で利用するための研究室を整備しています。24時間利用可能で、パソコン、机、保管庫・ロッカーを設置しています。



### 総合学術情報センター(図書館部門)

医学・看護学及び関連分野の学術情報を収集・管理し、教育・研究・診療を支援する専門図書館があります。図書約10万冊、視聴覚資料約1,500点、学術雑誌約4,000タイトルを所蔵しており、学内外を問わずどこからでも所蔵状況を確認することができます。利用にあたっては、医療情報の専門家である図書館員が検索のコツや利用上の相談にも気軽に応じます。平日は22時まで利用できることに加え、毎週土曜日及び一部日曜日も開館しており、利便性の向上に努めています。

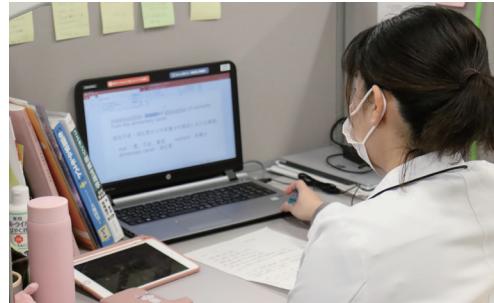


### 総合学術情報センター(情報基盤部門)

先進的な設備や最新のICT技術を導入し、学習支援環境の整備に積極的に力を注いでいます。課題解決(表分析、レポート作成等)などで、利用時間内であれば自由にパソコンが利用でき、操作支援やトラブルの対応には専門スタッフがサポートします。

## オンラインを取り入れた講義の実施

感染対策又は、職業を有する学生への配慮としてオンライン講義を取り入れています。自宅・職場から講義に参加することができます。



## 特別講義

看護の展望や看護の探求心、知的好奇心を育成するとともに、看護職者としての意識の改革、看護に対する関心への動機付けを狙いとして、年に数回開講しています。



## 修了生へのサポート

本研究科では、修了生に対してのフォローアップ、キャリアサポートを目的とし『修了生連絡会』を設置しています。『修了生連絡会』では専用のメーリングリストを作成し、本研究科で開催するイベントの情報を発信したり、研究科担当教員及び修了生相互の情報交換の場として運用されています。

## 国内外の大学との交流

### 国際性

看護学部では、ケース・ウェスタン・リザーブ大学(米国)、サンディエゴ大学(米国)、オウル大学(フィンランド)及びマハサラカム大学(タイ王国)と協定締結を行っており、協定締結大学から教員を招聘し、講義・演習を行っています。

### 国内における交流

感染看護学領域では、他の看護系大学大学院との協力などによる講義・演習を行っています。

## 科目等履修制度

科目等履修制度は、本研究科において開講している授業科目の「単位修得」を目的として入学する制度です。本研究科において履修した科目は試験等で総合的に判断し、単位を認定します。認定された単位は、15単位を限度として、入学後に単位を認定することができます。

## 職業実践力育成プログラム(BP)

「職業実践力育成プログラム」(BP)とは、大学・大学院・短期大学・高等専門学校におけるプログラムの受講を通じた社会人の職業に必要な能力の向上を図る機会の拡大を目的として、大学等における社会人や企業等のニーズに応じた実践的・専門的なプログラムを文部科学大臣が認定するものです。



本研究科高度実践看護師(診療看護師[NP])コースは平成30年度に、高度実践看護師(専門看護師[CNS])コースは令和元年度に認定されました。

## 教育訓練給付金(専門実践教育訓練給付金)

高度実践看護師(専門看護師[CNS])コース及び高度実践看護師(診療看護師[NP])コースは、厚生労働大臣より、教育訓練給付金の専門実践教育訓練として指定を受けています。一定の条件を満たせば、2年間で最大112万円の給付が受けられます。

※専門実践教育訓練給付金の制度等の詳細につきましては、ハローワークや厚生労働省のWebページも併せて必ずご確認ください。

# 修了生からのメッセージ

| Senior Message

患者中心の医療を大切に  
した診療看護師(NP)として  
活動していきたい

中部国際医療センター  
臨床実践看護学領域  
高度実践看護師(診療看護師[NP]) コース

片田 将司さん

2022年3月修了



本コースでは、医師だけでなく、診療看護師(NP)、多職種による充実した講義を受けられるため、集中治療室・救急外来・院内チーム活動での経験を通して、一步踏み込んだ看護を学びたいと思い、進学しました。

医学教育(医療面接・身体診察・病態生理学・薬理学)や看護学で学んだことを、「疾病特論」や「臨床推論」の講義のシミュレーションを通してアウトプットできたことが良い学びになりました。これにより総合的に人を診るためにの推論を展開でき、内省を重ねながら、さらに必要な医学・看護学の知識を学んでいくことがよかったです。

今後は、医師をはじめとする多職種で協働して、患者中心の医療を大切にした診療看護師(NP)として活動していくように精進して参りたいです。

研究プロセスを  
基礎から学び、  
教育に活かしていく

名古屋学芸大学看護学部 教員  
慢性看護学領域 修士論文コース

中村 純江さん

2022年3月修了



看護師として臨床の場で働く中で、疑問を抱くことや看護を見直したいという想いがありました。看護を幅広い視点から捉え直すことが必要だと感じ、大学院進学を決めました。

大学院では研究を基礎から学ぶことができることが魅力だと思います。同期の院生や先生方との話の中で、より研究に関する議論を深めることができました。

今後は、大学教育に携わることになり、臨床での経験と大学院での学び相互を活かしていきたいと思っています。

「看護とは何か」を  
解決するため

日本赤十字豊田看護大学 教員  
看護管理学領域 修士論文コース

谷口 純平さん

2017年3月修了



私が大学院への進学を決めた動機は、「看護とは何か」という疑問を解決するためでした。

大学院では看護管理学を専攻し、自身の研究についてはもちろんのこと、看護の質の向上やリスクマネジメントなど管理に関する内容を多角的な視点で学習することができました。

これらの学びは、現在働いている臨床の中で、安全な患者管理や看護師の育成などに役立っていると感じています。ですが、「看護とは」という答えは見つかっていないので、大学院での経験を活かして自分自身の「看護とは」を見つけることが今後の課題です。

医師の視点を持った  
看護師として、在宅医療の  
発展に貢献していきたい

愛知医科大学病院  
臨床実践看護学領域  
高度実践看護師(診療看護師[NP]) コース

三輪 由希さん

2022年3月修了



入学前は、デイサービスや老人ホームなどで勤務しており、医師が身近にいない在宅こそ、診療看護師(NP)の存在は大きいと思い、本コースへの進学を決意しました。

実習では、指導医のもとで行うため、ドクターカンファレンスに参加することや、診断や処方等の考え方を学ぶことができ、医師の視点で学ぶことができました。そして、それを踏まて、診療看護師(NP)として、どのように働くべきなのか、私自身の働き方を改めて考えさせられる貴重な機会でした。しっかりとアセスメントと根拠を持つこと、看護を大切にしながら、看護と医療を実践していくことを学ぶことができました。

今後は、愛知医科大学病院で実践しながら学びを継続し、在宅医療の発展に貢献していきたいと思います。

臨床や教育で体験した  
疑問について振り返り、  
考えることができた

日本福祉大学看護学部 教員  
地域看護学領域 修士論文コース

南 千晴さん

2022年3月修了



入学前に約2年間科目等履修生として過ごす中で、広く看護学を探ることに関心を深め、大学院へ進学しました。

大学院の科目では、臨床実践及び看護教育を経験する中で、心に引っかかり続けていた場面について振り返り、思考・行動を明らかにしながら、体験を意味づける作業ができたことは、私の財産となりました。看護・教育の実践において、他者をケアするためには、まずは自分自身をケアし、承認していくことが必要であることを改めて実感しました。

今後は、大学教育に携わりながら、産業看護学分野での研究等を通して、社会に貢献していきたいと考えます。

実践してきた看護を  
理論づけて考える

国立病院機構東名古屋病院  
感染症専門看護師(CNS)  
高度実践看護師(専門看護師[CNS])コース

加藤 千景さん

2020年3月修了



私は自分が実践してきた感染対策や感染症看護が適切であったのか疑問に思うことがあります。大学院で学びを深めたいと思い進学を決意しました。

大学院では看護を学び直す機会となり、今まで経験してきたことや実践してきた看護を理論づけて考えることができるようになりました。

大学院修了後は臨床現場に戻りましたが、大学院で学んだことを活かして広い視野で看護が実践できるように日々努力していきたいと思っています。

# 修士論文コース

## 各分野の第一人者を講師として招き、幅広く専門的な看護学を教授

修士論文コースは、8つの多彩な専攻領域を設置し、看護実践者の研究能力の向上と看護教育・管理に貢献できる看護職者の質的向上をめざした教育を行っています。働きながら学修を続けることができるよう、平日の夜間や土曜日などに開講しています。

## カリキュラム

	授業科目	配当年次	単位数		修得すべき単位数
			必修	選択	
共通科目	現象学的看護学	1		2	必修以外から 当該指導教員と相談して選択(計14単位以上)
	看護理論	1	2		
	看護倫理	1	2		
	看護教育論	1		2	
	看護管理論	1		2	
	看護研究方法論Ⅰ	1	2		
	看護研究方法論Ⅱ	1		2	
	コンサルテーション論	1		2	
	看護政策論	2		2	
	環境保健学	1		2	
	国際看護学	2		2	
	英語文献講読	1	2		
	看護教育実践論	1		2	

授業科目	配当年次	単位数		修得すべき単位数
		必修	選択	
看護管理学特論Ⅰ	1		2	(1) 専攻領域の講義科目 4 単位 (2) 専攻領域の演習科目 4 単位 (3) 特別研究 8 単位 (計 16 単位以上)
看護管理学特論Ⅱ	2		2	
看護管理学演習	1		4	
母性看護学特論Ⅰ	1		2	
母性看護学特論Ⅱ	2		2	
母性看護学演習	1		4	
慢性看護学特論Ⅰ	1		2	
慢性看護学特論Ⅱ	1		2	
慢性看護学演習	1		4	
精神看護学特論Ⅰ	1		2	
精神看護学特論Ⅱ	2		2	
精神看護学演習	1		4	
在宅看護学特論Ⅰ	1		2	
在宅看護学特論Ⅱ	2		2	
在宅看護学演習	1		4	
地域看護学特論Ⅰ	1		2	
地域看護学特論Ⅱ	2		2	
地域看護学演習	1		4	
感染看護学特論Ⅰ	1		2	
感染看護学特論Ⅱ	1		2	
感染看護学演習Ⅰ	1		4	
特別研究(修士論文)	2		8	

助産師として幅広い視野・精巧な知識・考えを持ち、学びを深めていきたい

母性看護学領域（修士論文コース） 黒田 愛理さん

第2学年

助産師として働く中で、本当に患者さんのための看護ができるのだろうかと疑問を抱き、幅広い視野やより精巧な知識、考え方を持つことを志し、学問としての看護の学びを深めたいと思い、大学院への進学を決意しました。

大学院では、分野の異なる経験豊富な他の学生達から学ぶことが多く、一つ一つの授業がとても刺激的で活発な意見交換が行われています。“看護とは何か”と見つめ直し、深く考えることの大切さを感じ、充実した時間を過ごしています。

将来的には自分の学びを、看護の教育の場で活用することも視野に入れ、日々励んでいます。

### Senior Message



# 高度実践看護師(専門看護師[CNS])コース

## 感染看護学分野の高度実践看護師を育成

感染看護学領域は、専門看護師教育機関として認定を受けており、修了者は公益社団法人日本看護協会が実施する専門看護師認定審査(感染症看護)の受験資格が得られます。

## 教育方針

高度実践看護師(専門看護師[CNS])コースは、対象のクオリティ・オブ・ライフの向上を目的として、キュアとケアの融合による高度な看護学の知識・技術を駆使し、個人・家族・集団・地域に対して、卓越した感染予防ケアと感染管理を実践する高度実践看護師の育成を目指します。

課題研究では、医療関連施設における感染症患者及び易感染患者のケア、感染症に伴う倫理的問題への介入、施設及び地域における感染管理活動、災害時の感染防止、感染症集団発生時の疫学調査と感染拡大防止対策などについて探求し、感染看護学の発展と看護の質向上に寄与しうる研究論文の作成を目指します。



## カリキュラム

授業科目		単位数	修得すべき単位数
共通科目名	看護理論	2	8単位以上
	看護倫理	2	
	看護教育論	2	
	看護管理論	2	
	看護研究方法論I	2	
	コンサルテーション論	2	
	看護政策論	2	
	フィジカルアセスメント	2	
	臨床薬理	2	
	病態生理学	2	

授業科目		単位数	修得すべき単位数
専門科目名	感染看護学特論I	2	18単位
	感染看護学特論II	2	
	感染看護学特論III	2	
	感染看護学特論IV	2	
	感染看護学特論V	2	
	感染看護学演習I	4	
	感染看護学演習II	4	
	感染看護学実習I	3	
	感染看護学実習II	4	
	感染看護学実習III	3	
課題研究		4	4単位

合計:46単位以上

### 専門看護師6つの役割

(実践・相談・調整・倫理調整・教育・研究)を果たすために

感染看護学領域 高度実践看護師(専門看護師[CNS])コース

木下 光香さん

第2学年

### Senior Message



私は病院でリンクナースをしていた時に、リンクナースの役割や病院の感染管理に興味を持ちました。さらに、数年前から科目等履修生として大学院で学習し、そこで志の高い大学院生との出会いや先生方の熱心な指導を受け、さらに学びを深めたいと思い大学院に進学しました。

大学院では専門看護師の6つの役割に必要な多くの科目を学習し、実習では学習した事を現場でどのように活用するかを学んでいます。授業や実習、研究を進める中で、考え方を柔軟にし、新しい知識を吸収し、表現する事の難しさを感じています。しかし、先生方の指導を受け、同じ目標を持つ仲間と共に日々成長したいと思います。

今後は大学院での経験を臨床の現場に戻り活用できるようにしていきたいです。

# 高度実践看護師(診療看護師[NP])コース

## 診療看護師(NP)とは

病気を診断し治療を行うナース・プラクティショナーという看護師が海外では活躍しています。この役割の一部を担う看護師が診療看護師(NP)です。診療看護師(NP)とは、「患者のQOL向上のために医師や多職種と連携・協働し、倫理的かつ科学的根拠に基づき一定レベルの診療を行うことができる看護師」です。愛知医科大学大学院看護学研究科では、日本NP教育大学院協議会の養成教育カリキュラムに基づき、診療看護師(NP)の養成を行っています。

## 診療看護師(NP)の特徴とは

診療看護師(NP)は、看護学を基盤として、診療とケアを統合した高度実践看護を実践することができる看護師です。特徴的な違いとして、これまでの看護学の知識・技術に加えて、医学的な視点を学ぶことによって、病気の診断技術と治療管理技術を修得します。加えて、厚生労働省「看護師の特定行為に係る研修制度」を通じて、38行為21区分の特定行為研修を行っています。



## 本学の特色

### ■ 2コース同時開講

本学では、クリティカルケアコースとプライマリケアコースの2コースを開設しており、日本NP教育大学院協議会主催・NP資格認定試験、クリティカル又はプライマリ(成人・老年)領域の受験資格を得ることができます。

### ■ 教育利点

医学部が併設しているメリットを生かし、薬理学、生理学などの基礎医学に関する科目は、医学部と同様の教育を受けることができます。また、臨床経験豊富な医師や先輩診療看護師(NP)の講義によって、臨床実践能力の向上を目指すことができます。加えて、診療看護師(NP)資格をもつ看護教員が在籍しており、看護の視点を持って学ぶことができます。

### ■ 合格率 100%

本コースは、平成22年度に日本NP教育大学院協議会の診療看護師(NP)養成教育課程の認定を受け、現時点までの修了生の認定試験合格率は100%です。

## 看護師の心と眼でチーム医療を実践していきたい

### Senior Message

臨床実践看護学領域 高度実践看護師(診療看護師[NP])コース

藤澤 恵児さん

第2学年

私がナース・プラクティショナーと初めて出会ったのは、看護学生時代に大学の短期留学でアメリカへ行ったときのことでした。留学先の病院見学では、看護師一人ひとりが自身の専門分野を生かし、一つのチームとして協力し合う姿が今も目に焼きついています。

私が、臨床で働いていく中においても看護師の専門性がより求められるようになってきていると感じています。

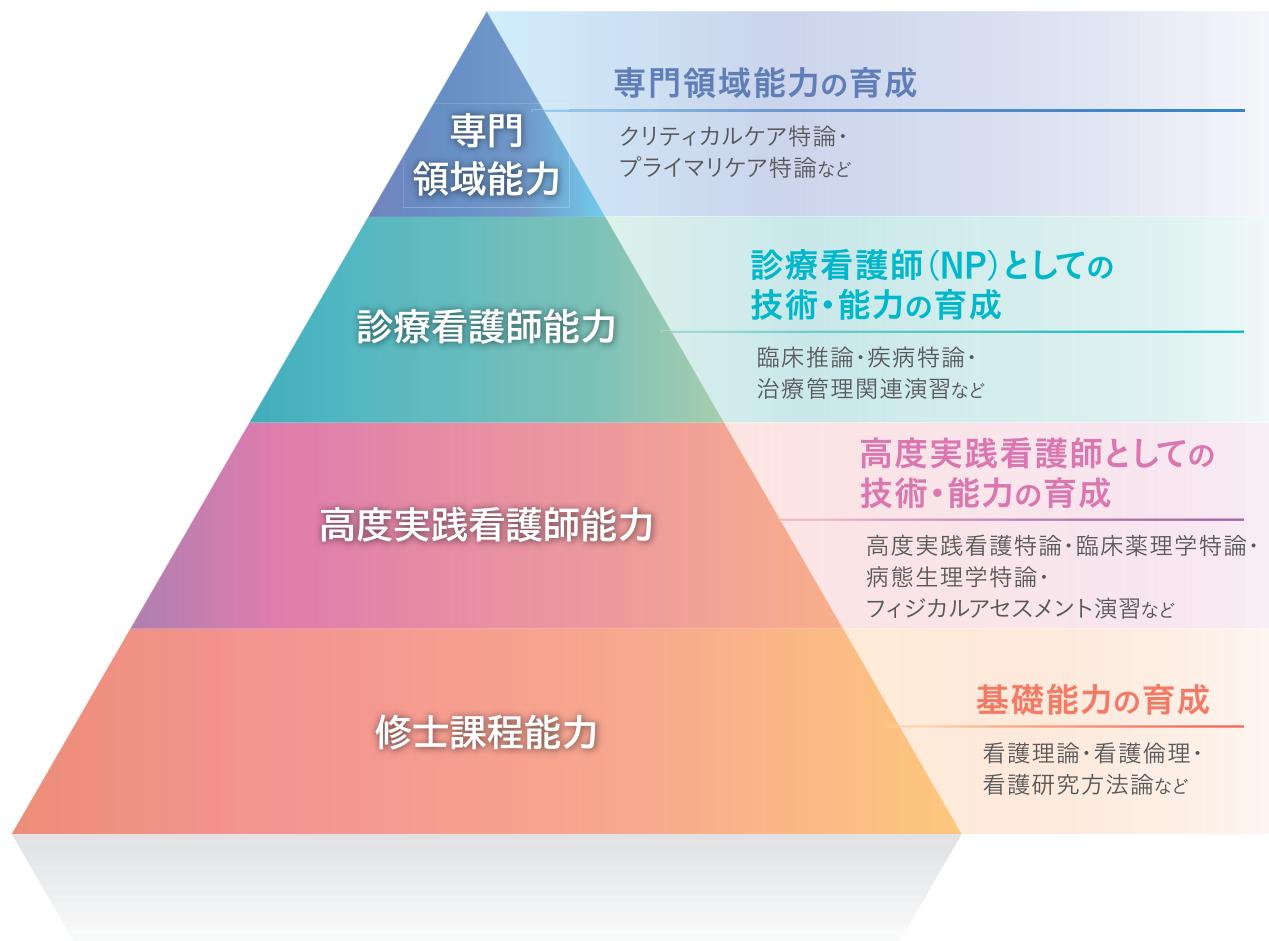
診療看護師(NP)として与えられる役割は大きくなると思いますが、私たちは看護師でありますので、いつも看護師の心と眼で医療チームと協力し合い、患者さんやご家族に良い看護を提供できるようになりたいと思っています。



# 高度実践看護師(診療看護師[NP])コース

## カリキュラムの特徴

諸外国の高度実践看護師養成教育モデルを参考に、段階的に、系統化された教育を積むことで看護学修士としての看護の視点を伸ばしつつ、診療看護師(NP)として必要な知識・技術を修得することが可能です。加えて、クリティカルケアコースとプライマリケアコースの両コース開設によって、より専門性を深めた教育を自身のキャリアプランに沿って学ぶことが出来ます。



## 充実した学習・実習環境

診療看護師[NP]コースでは、専用の演習室を備えています。臨床推論ソフト、気管挿管、動脈穿刺、縫合シミュレーター、超音波診断装置も常備されています。シミュレーションセンターでは、高機能シミュレーターを用いて、シミュレーションを行っています。

学修は、ICTを活用した学修支援システムにより、自宅でも文献検索やレポートの提出ができ、社会人が学修しやすい支援を行っています。大学院生には、子育てをしながら進学する方も多くなっています。

実習は、愛知医科大学病院だけでなく、地域の中核病院、在宅診療専門クリニック、山間部や離島などのへき地の診療所などでも実習を行い、高度先進医療から地域医療まで幅広い対応が可能な診療看護師(NP)の育成を目的としています。



## カリキュラム

	授業科目	単位数	修得すべき単位数
共通科目	看護理論	2	計14単位以上
	看護倫理	2	
	看護研究方法論I	2	
	英語文献講読	2	
	チーム医療・看護管理特論	2	
	保健医療福祉システム特論	2	
	看護教育論,看護管理論,コンサルテーション論,看護政策論(選択)	2	
専門科目	高度実践看護特論	1	計54単位
	臨床薬理学特論	3	
	病態生理学特論	5	
	疾病特論	4	
	臨床推論	3	
	フィジカルアセスメント演習	2	
	呼吸器・循環器治療のための実践演習	5	
	ドレーン管理のための実践演習	2	
	疾病と治療 カテーテル管理と創傷管理	3	
	疾病と治療 薬物治療I	2	
	疾病と治療 薬物治療II	3	
	人体構造演習	1	
	NP実習	20	
選択科目	クリティカルケア特論(選択)	2	計2単位以上
	プライマリケア特論(選択)	2	
課題研究	課題研究	4	計4単位

\*診療看護師[NP]コースの専門科目における講義および実習は、昼間に実施されます。

合計:74単位

## 愛知医科大学奨学金制度

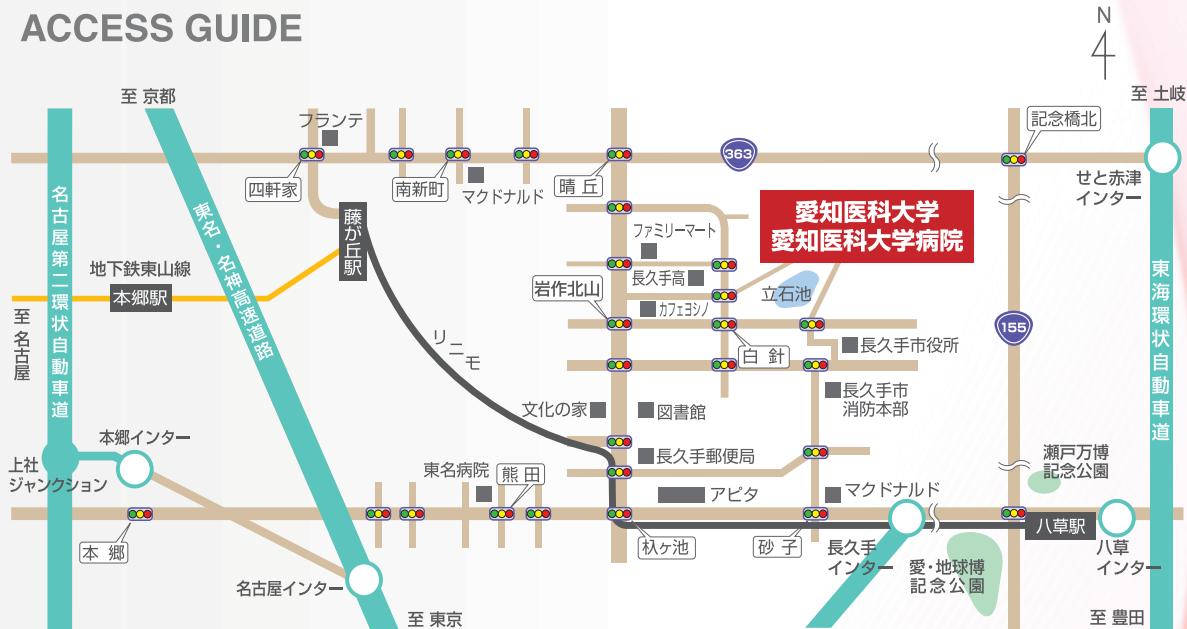
高度実践看護師(診療看護師[NP])コース修了後に、愛知医科大学病院に診療看護師(NP)として業務に従事することを希望する学生については、奨学金を受けることができます。

### 奨学金の月額等

奨学金額(月額)	貸与期間	貸与総額	返還免除までに要する期間
200,000円	24か月	4,800,000円	48か月

- \*1 奨学生の選考は、入学後に実施します。(4名程度を予定)
- 2 次の場合は、奨学金を一括返還いただきます。
  - ・課程修了しなかった場合
  - ・課程修了後、愛知医科大学病院に就職しなかった場合
- 3 愛知医科大学病院で勤務した月数に応じ、次により計算して得た額の返還債務を免除します。  
貸与を受けた額÷返還債務免除までに要する期間×勤務した期間

## ACCESS GUIDE



### ■幹線道路から

- ① 東名・名神高速道路・名古屋インターから車で約15分、長久手インターから車で約10分
- ② 名古屋第二環状自動車道・本郷インターから車で約15分
- ③ 東海環状自動車道・せと赤津インターから車で約30分

### ■公共交通機関

名古屋駅から地下鉄東山線で「藤が丘」駅まで25分、地下鉄東山線「藤が丘」駅から名鉄バスで約15分

\*詳細はホームページをご確認ください。

## Web入試説明動画配信中

入試説明特設ページではいつでも説明動画を視聴することができます。

内容

- 研究科長メッセージ ■研究科の概要・入試説明
- 修了生メッセージ ■領域・教員紹介等



入試説明特設ページは  
こちらから

[お問い合わせ先]

## 愛知医科大学看護学部教学課大学院係

〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1  
TEL: 0561-62-3311(代表) <直通> TEL: 0561-61-1827 FAX: 0561-63-1093  
E-mail: gakumu@aichi-med-u.ac.jp  
URL: <https://www.aichi-med-u.ac.jp/>

